

2024年2月27日

各位

株式会社 SBI証券

【NISA やるなら！SBI証券】NISAに関するお客さまアンケート結果等のお知らせ ～NISA口座開設件数(2023年) & 投信販売金額(2023年)「業界No.1」～

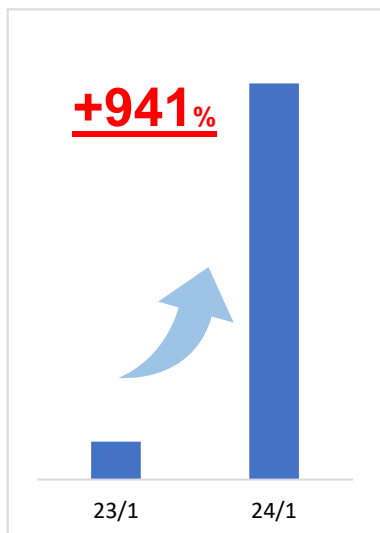
株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、資産形成への関心が高まる中で、当社ご利用のお客さまの満足度やニーズ等を把握し、お客さまの資産形成を継続的にサポートしていくため、新NISAに関するアンケートを実施しました。実施期間わずか8日間(2024年2月7日から2月14日まで)で約3.4万件もの回答が集まり、皆さまの関心の高さがうかがえる結果となりました。

このたびのアンケート結果から、当社をご利用いただく理由として、2023年9月以降、証券業界に立て続けに革命を起こした「ゼロ革命」(「オンラインでの国内株式売買手数料無料(第一弾)」^{※1}、「新NISAにおける米国個別株式(ADR含む)および海外ETF(米国・中国・韓国・シンガポール)売買手数料無料(第二弾)」、「米ドル/円のリアルタイム為替取引にかかる為替手数料無料(第三弾)」^{※2})をはじめ、クレジットカード積立機能、豊富な商品ラインナップ、マルチポイントサービス等についてもご支持をいただいていることがわかりました。

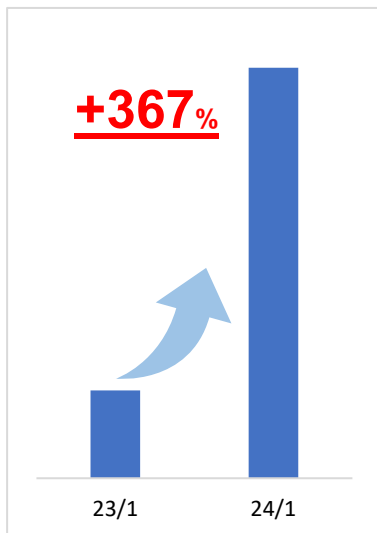
当社は2023年(2023年1月から2023年12月まで)における「NISA口座開設件数」、「証券総合口座数」、「iDeCo口座開設件数」3部門の口座開設件数業界No.1^{※3}に加え、2023年(1月から12月まで)の投資信託販売金額は、業界No.1^{※4}となりました。2024年1月のNISA口座開設件数は、金融機関変更含め過去最高の約44.6万ものお客さまに開設をいただきました。

■NISA口座における商品別買付金額(2023年1月と2024年1月の比較[※])

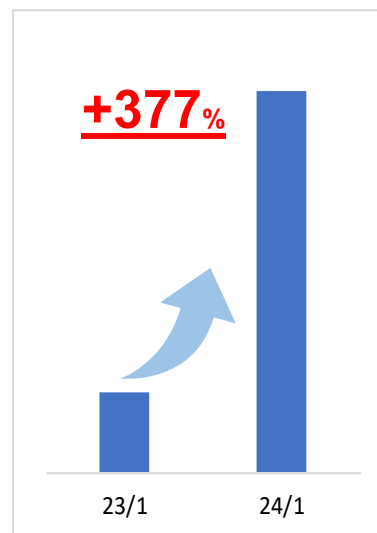
<投資信託>



<国内株式>



<外国株式>



注 ジュニア NISA は比較対象外です。投資信託の買付金額については、2023 年 1 月は一般 NISA とつみたて NISA の合計、2024 年 1 月は新 NISA における成長投資枠とつみたて投資枠の合計を比較したものです。国内株式と外国株式の買付金額については、2023 年までの一般 NISA と 2024 年からの新 NISA の成長投資枠を比較したものです。

2024 年 1 月の NISA 口座における商品別買付金額は、前年 2023 年 1 月と比較して投資信託(前年同月比)が+941%、国内株式(同)が+367%、外国株式(同)が+377%と急増し、新 NISA をきっかけに多くのお客さまが当社の商品・サービスを通じて資産形成をスタートしています。さらに投資信託等の預り残高^{※5}も 10 兆円の大会を突破(2024 年 1 月 17 日)しました。

■ 2024 年 2 月 25 日(日)開催 「新 NISA の学び舎～NISA やるなら！ SBI 証券」セミナーは満員御礼！



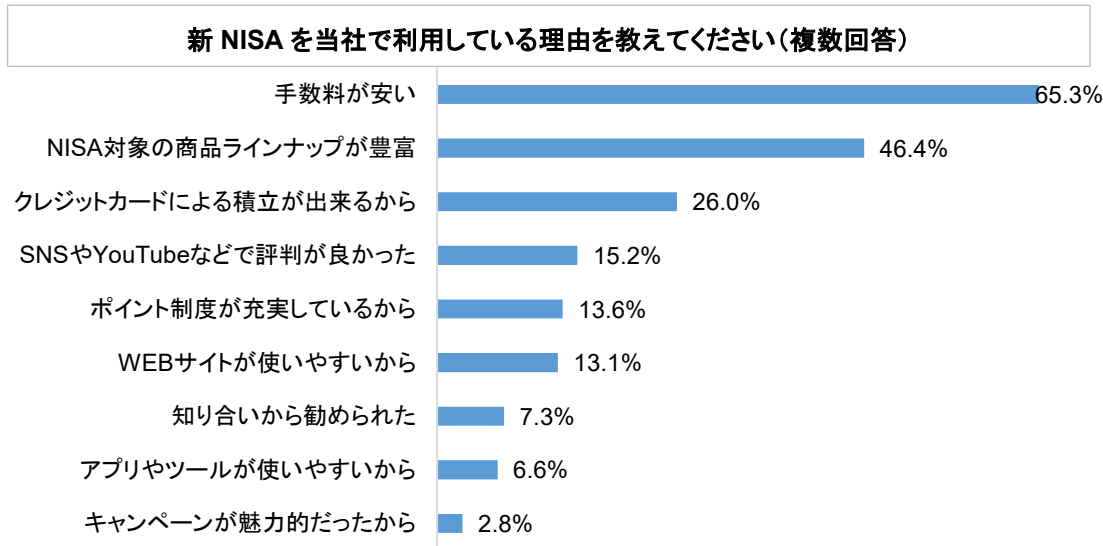
2024 年 2 月 25 日(日)に、会場・WEB 配信ハイブリッド型セミナー「新 NISA の学び舎～NISA やるなら！ SBI 証券～」を開催しました。本セミナーの参加申込者数は、会場・LIVE 配信合わせて約 17,000 名様にのびりました。3 連休最終日の悪天候の中、会場と LIVE 配信共に多くのお客さまにご参加いただき、大盛況のうちに閉会することができました。(後日、録画動画配信予定)

■新 NISA に関するお客さまアンケート結果

2024 年 2 月 7 日から 2 月 14 日までの 8 日間で約 3.4 万人の方に「新 NISA に関するアンケート」にご回答いただきました。

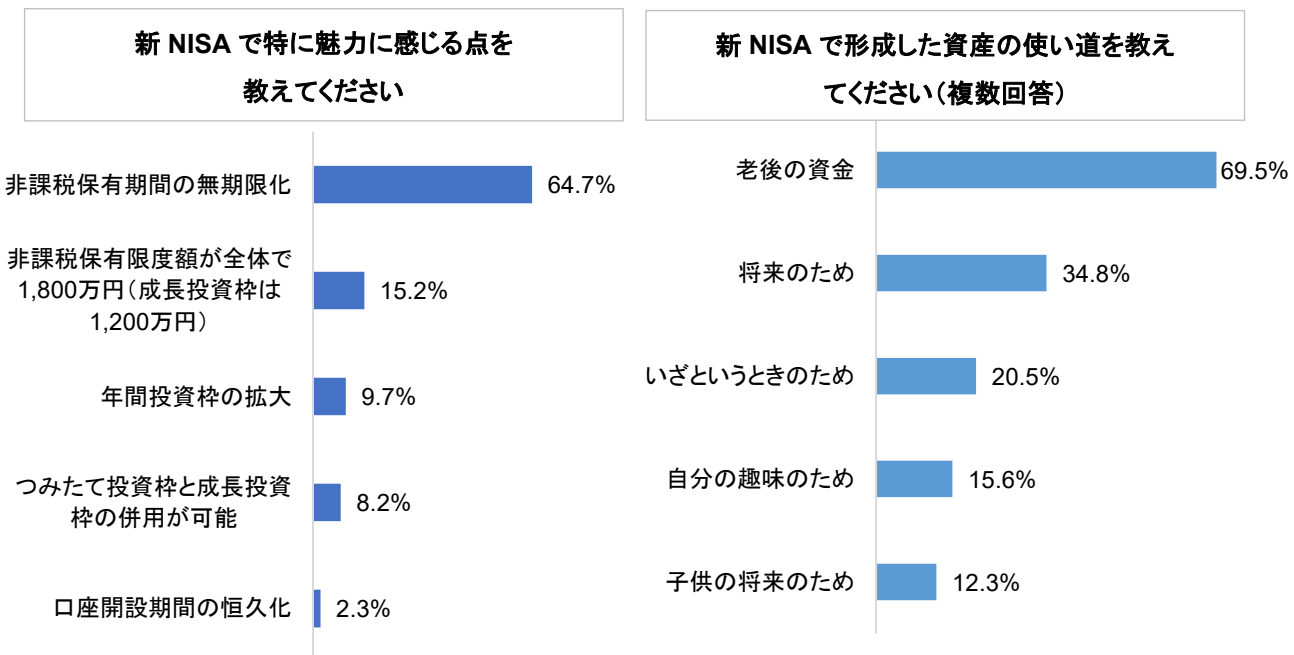
当社を利用する理由は手数料の安さと豊富な商品ラインナップ

新 NISA を当社で利用する理由として「手数料の安さ」、「NISA 対象の商品ラインナップが豊富」、「クレジットカードによる積立機能」、「マルチポイント制度の充実」等、サービス面が上位を占めました。



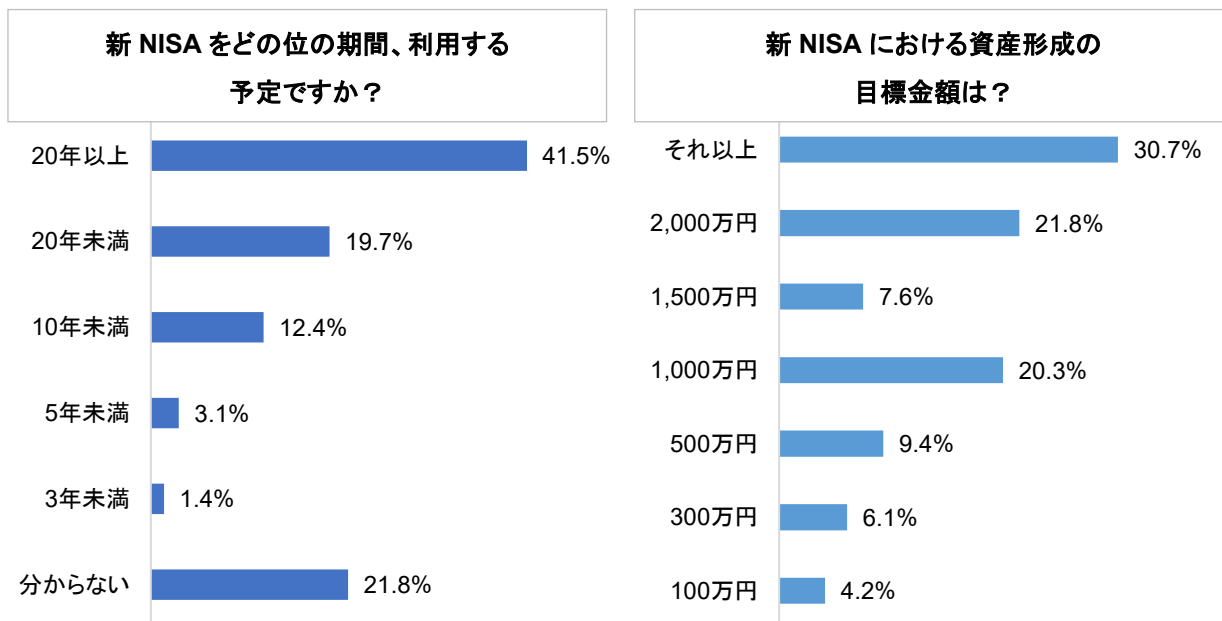
新 NISA の魅力は「非課税保有期間の無期限化」、使い道は「老後の資金・将来のため」

非課税限度額や年間投資枠の拡大、非課税期間の無期限化へのメリットを感じているお客さまが多く、運用目的は老後資金や将来に向けた中長期運用の回答が目立ちました。



投資期間は 20 年以上を見据え、運用目標は 2,000 万円を上回る水準で設定

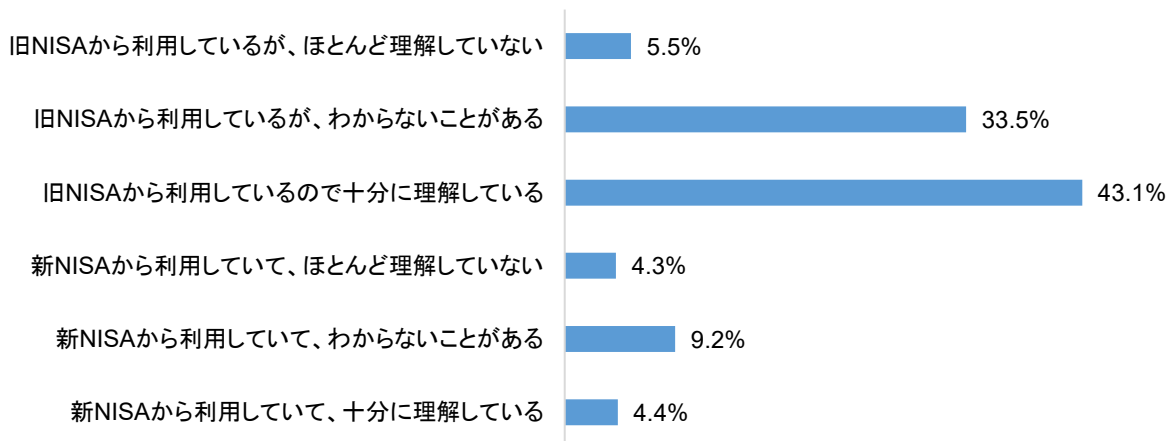
20 年以上の投資を見据えている方が 40%超を占め、新 NISA における資産形成の目標金額を 2,000 万円以上とする方が 50%超を占めました。



制度や取引ルールが「わからない」と回答した方が過半数

「わからない」「理解していない」と回答した方が過半数を占め、相談の機会やお客さまに合った情報提供が必要と考えます。当社では 2023 年 9 月に実施した「資産運用フェス 2023～NISA やるなら！SBI 証券～」に引き続き、2024 年 2 月 25 日(日)に「新 NISA の学び舎～NISA やるなら！SBI 証券～」を開催し、NISA 口座の受付や質問コーナー、ツールの使い方をご説明するブースを設け、お客さまの不安やこれから投資をはじめの方が気になることを解消する機会を設けました。今後もニーズにお応えすべく、情報提供の強化に努めていきます。

新 NISA の制度や取引ルールに関する理解度について教えてください



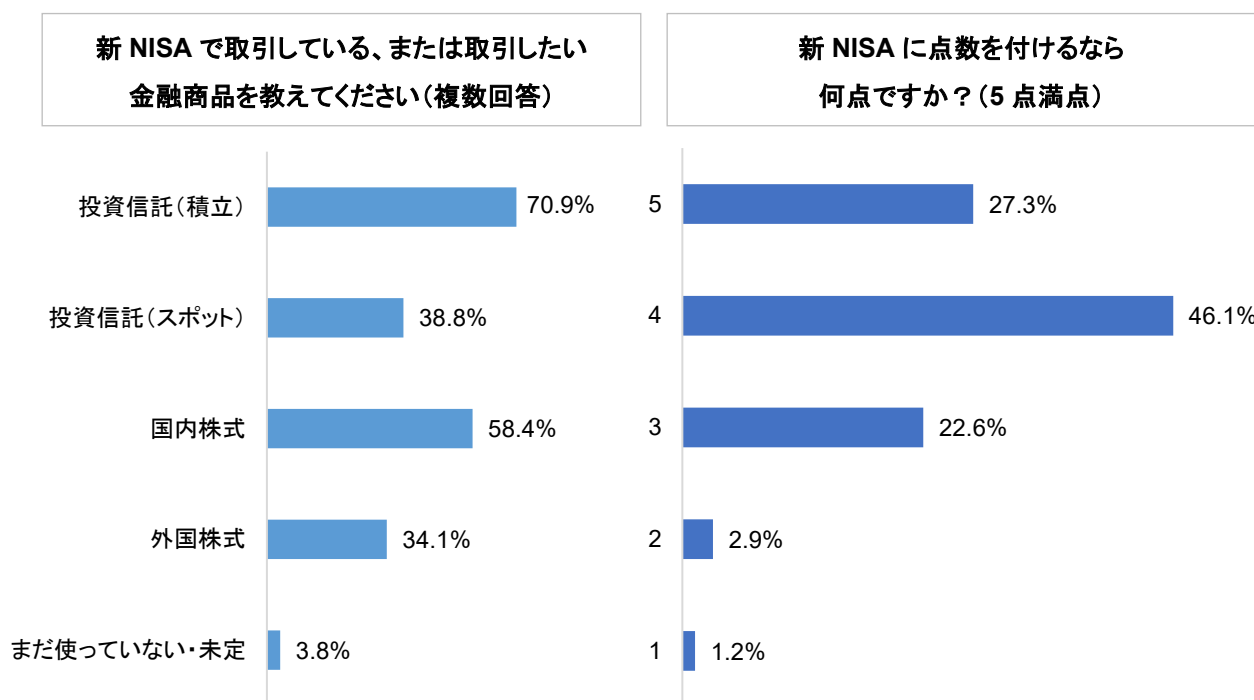
70%超の方が投資信託の積立買付を選択肢に

まずは資産形成のスタートを投資信託(積立)からと考えるお客さまが 70%を占めています。当社はファンド選びをサポートするため、1,000 本を超える業界屈指の NISA 成長投資枠ラインナップの中から、当社が長期投資の観点から定量的に優れていると考え、厳選したファンド群「SBI セレクト」「SBI プレミアムセレクト」の提供や、ファンド選びをサポートする専用サイト「NISA おまかせ隊」など、新 NISA に向けてサービス拡充を行っています。

投資信託(積立)だけではなく、国内株式の取引への関心も高く、国内株式の投資意向をお持ちのお客さまが 60%近くを占めています。当社では豊富な商品ラインナップを取り揃えており、2023 年 9 月からオンラインでの国内株式売買手数料を無料化する「ゼロ革命」の実施により、より一層さまざまな商品が取引しやすい環境が整っています。

70%以上の方が「4 点以上」を選択

新 NISA への評価は 5 点満点中、4 点以上の高評価が 70%以上を占めました。これまで投資をしていなかったユーザー層が投資を始めるきっかけとして、良いスタートを切ることができました。



このたびのアンケートを通していただいたご意見を真摯に受け止め、引き続き「NISA やるなら! SBI 証券」として多くのお客さまにご支持をいただけるよう、適切でわかりやすい情報提供・サービスの拡充を行い、お客さまの資産形成の継続的なサポートに努めていきます。当社は、今後も「顧客中心主義」のもと、「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」を提供し、さらに多くの個人投資家の皆さまの資産形成を全力で支援していきます。

- ※1 オンラインでの国内株式売買手数料無料はインターネットコースまたはインターネットコース(プラン C)で、電子交付サービス申込済で当社所定の電子交付設定を行っているお客さまが対象です。
- ※2 米ドル/円リアルタイム為替手数料無料はインターネットコース(プラン C 除く)のお客さまが対象です。システム対応まではキャッシュバックによる実質0 銭となります。
- ※3 NISA 口座開設件数の比較対象範囲は、口座開設数上位のネット証券5 社(SBI 証券、au カブコム証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券(順不同))です。(2023 年1 月から2023 年12 月までの公表値にて比較。SBI 証券調べ)
証券総合口座件数の比較対象範囲は、口座開設数上位のネット証券5 社(SBI 証券、au カブコム証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券(順不同))です。口座数には、SBI ネオモバイル証券の口座数、SBI ネオトレード証券の口座数、FOLIO の口座数を含みます。(2023 年1 月から2023 年12 月までの公表値にて比較。SBI 証券調べ)
iDeCo 口座開設件数の比較対象範囲は、iDeCo (個人型確定拠出年金)を提供する全運営管理機関です。(2023 年1 月から2023 年12 月まで。SBI 証券調べ)
- ※4 比較対象は、口座開設数上位のネット証券5 社(SBI 証券、au カブコム証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券(順不同))の投資信託買付代金(課税・非課税口座の合算値)です。(2023 年1 月から2023 年12 月までの公表値にて比較。SBI 証券調べ)
- ※5 当社取扱いの投資信託(MRF、外貨建 MMF、ETF、外国籍投資信託、ファンドラップ専用投信含む)の残高合計です。(ETF、外国籍投資信託は 2023 年12 月末時点のデータを使用)

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者
登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会、日本商品先物取引協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
